

# EPSON

# ネットワークガイド

NPD7825-00 JA

# もくじ

マークの意味 .....	6
マニュアル記載の前提 .....	6
OS 表記 .....	6
マニュアルのご注意 .....	7
マニュアルの構成 .....	8
マニュアルで使用する用語の定義 .....	8

## 準備編 ..... 10

プリンターの設定の流れ .....	10
プリンター接続設定の紹介 ....	10
サーバークライアント型接続設定 ....	11
ピアツーピア型接続設定 ....	11
ネットワーク接続の準備 .....	11
接続設定情報の収集 ....	11
プリンター仕様 ....	12
IP アドレスの割り当てタイプ ....	12
ネットワーク接続設定方法の紹介 ....	12

## 接続編 ..... 14

ネットワークに接続する .....	14
プリンターのパネルを使って IP アドレスを設定する ....	14
EpsonNet Config で IP アドレスを設定する ....	16

## 機能設定編 ..... 21

Web Config (デバイスのウェブページ) .....	21
Web Config の概要 ....	21
Web Config の起動 ....	21
印刷機能を使う .....	22
ネットワークで印刷するために必要なこと ....	22
サーバークライアント型接続でのプリンタードライバー設定 ....	22
ピアツーピア型接続でのプリンタードライバー設定 ....	26

## セキュリティー編 ..... 27

セキュリティー設定と防止できる脅威 .....	27
セキュリティー機能の設定 ....	28
管理者パスワードの設定 .....	28
Web Config から管理者パスワードを設定する ....	28
利用するプロトコルやサービスを制御する .....	29
プロトコルを制御する ....	29
プリンターとの SSL/TLS 通信 .....	33
使用できる電子証明書 ....	33
CA 署名証明書の取得とインポート ....	33
CA 署名証明書を削除する ....	36
自己署名証明書を更新する ....	37
IPsec/IP フィルタリングで暗号化通信する .....	38
IPsec/IP フィルタリングの概要 ....	38
基本ポリシーを設定する ....	38
個別ポリシーを設定する ....	40
IPsec/IP フィルタリングの設定例 ....	44
SNMPv3 プロトコルを利用する .....	46
SNMPv3 の概要 ....	46
SNMPv3 を設定する ....	46

## トラブルを解決する ..... 48

サーバーやネットワーク機器のログの確認 .....	48
ネットワークステータスシートを印刷する .....	48
設定の初期化 .....	48
プリンターでネットワーク設定を初期の状態に戻す ....	48
EpsonNet Config でネットワーク設定を初期の状態に戻す ....	49
デバイスとコンピューターの疎通を確認する .....	49
コンピューターとの疎通を Ping で確認する ....	49
ソフトウェア使用時のトラブル .....	50
Web Config にアクセスできない ....	50
EpsonNet Config で製品名や IP アドレスが表示されない ....	51
高度なセキュリティーのトラブル解決 .....	51
セキュリティー設定の初期化 ....	51

プリンターからセキュリティー機能を無効にする ....	52
Web Config からのセキュリティー機能の初期化 ....	52
セキュア環境への接続時のトラブル ....	53
電子証明書使用時のトラブル ....	54
ネットワーク関連のソフトウェア .....	58
Epson Device Admin ....	58
EpsonNet Print ....	58
EpsonNet SetupManager ....	58

---

# マニュアルのご注意

---

無断で複写・転載することを禁じます。本書のいかなる部分も弊社の許諾なく検索システムへ保存したり、電子データ、紙媒体、または録音などの方法で複写・転送することを禁じます。本書に記載されている情報に関して、特許上の問題が生じて弊社は一切責任を負いません。また、本書に記載されている情報の使用に起因する損害についても責任を負いかねますのでご了承ください。本書に記載されている情報は、特定のエプソン製品にのみ適用される情報です。他製品に適用したときの影響については責任を負いかねますのでご了承ください。弊社または関連会社は、購入者または第三者による事故や、誤操作、誤用、または許可されていない本製品の改良、修理、変更、または弊社が示す操作手順やメンテナンス手順に従わなかったことに起因する損害、損失、費用、または経費等について責任を負いかねますのでご了承ください。弊社または関連会社は、弊社製または弊社が認可したオプション品や消耗品以外を使ったことに起因するいかなる損害または問題についても責任を負いかねますのでご了承ください。弊社は、弊社が使用を認めているインターフェイスケーブル以外を使ったことに起因する電磁妨害によって生じた損害について、責任を負いかねますのでご了承ください。

©2026 Seiko Epson Corporation

本書の内容や製品の仕様は将来予告なしに変更することがあります。

---

# 商標

---

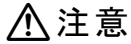
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

---

# マニュアルの見方

---

## マークの意味



**注意**

この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。



必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。



補足情報や参考情報を記載しています。

### 関連情報

→ 関連したページにジャンプします。

## マニュアル記載の前提

- 画面の表示内容やイラストは、機種や状況によって異なります。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。

## OS 表記

### Windows

本書では、以下の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2025」「Windows Server 2022」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2025 operating system 日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

## マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

---

# はじめに

---

## マニュアルの構成

本書はプリンターをネットワーク接続で使用できるまでの設定を記載しています。  
使用方法は『取扱説明書 詳細編』をご覧ください。

### 準備編

プリンターの管理者が行うことやプリンターの設定、管理をするためのソフトウェアを説明しています。

### 接続編

プリンターをネットワークに接続する方法を説明しています。

### セキュリティー編

管理者パスワードの設定やプロトコルの制御など、セキュリティー設定を説明しています。

### トラブルを解決する

設定の初期化とネットワークでのトラブルシューティングを説明しています。

## マニュアルで使用する用語の定義

本書では以下の用語を使用しています。

### システム管理者

企業や組織などで、プリンターやネットワークに関する設置や設定の権限を持っている人を指しています。小規模な組織では、ネットワーク管理者やデバイスの管理者を兼ねていることがあります。大規模な組織では、部や課といった組織のグループ内のネットワークや機器に関しての権限を持つ人を指していて、インターネットなど組織外への通信設定の権限はネットワーク管理者が担います。

### ネットワーク管理者

企業や組織などでネットワーク通信の制御を担当している人を指しています。ルーターやプロキシサーバー、DNS サーバー、メールサーバーなど、インターネットやネットワーク間の通信を制御している人です。

### ユーザー（利用者）

プリンターを使用するエンドユーザーを指しています。

### サーバクライアント型接続（Windows サーバーによるプリンター共有）

プリンターを Windows サーバーにネットワークまたは USB ケーブルなどで接続し、サーバーで設定したプリントキューを共有する接続を指しています。プリンターとコンピューターの通信はサーバーを経由し、プリンターの制御をサーバーで行います。

### ピアツーピア型接続（直接印刷）

プリンターとコンピューターがハブやアクセスポイントなどでネットワークに接続されていて、コンピューターから直接プリンターに印刷を実行する接続を指しています。

**Web Config (デバイスのウェブページ)**

デバイスに内蔵しているウェブサーバーです。Web Config (ウェブ コンフィグ) と表記しています。ネットワークからブラウザを使ってデバイスの情報確認や設定ができます。

**プリントキュー**

Windows の場合、[デバイスとプリンター] にあるプリンターやスキャナーなど、ポートごとに作られるアイコンを指しています。1 台のプリンターでも Standard TCP/IP や WSD などネットワークに接続しているポートにそれぞれのアイコンが作成されます。

**ツール**

Epson Device Admin (エプソン デバイス アドミン) や EpsonNet Config (エプソンネット コンフィグ)、EpsonNet SetupManager (エプソンネット セットアップマネージャー) など、デバイスの設定や管理を行うソフトウェアの総称として使用しています。

**ASCII (アスキー、American Standard Code for Information Interchange)**

基本的な文字コードの規格の一つです。アルファベット (a-z、A-Z) やアラビア数字 (0-9)、記号、空白文字、制御文字などを収録した 128 文字が規定されています。本書で「ASCII 文字」と表記している場合、下表にある 0x20~0x7E (16 進数) を指し、制御文字は含みません。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP*	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

\* 空白文字 (スペース) です。

**Unicode (UTF-8)**

国際的な文字コード規格です。世界中の主な言語で主に使われる文字をカバーしています。「UTF-8」とある場合、UTF-8 形式で符号化した文字を指します。

---

# 準備編

---

この章では、設定前の準備について紹介しています。

## プリンターの設定の流れ

プリンターをネットワークで使用できるように、ネットワークへ接続して、初期設定をします。

### 1

#### 準備する

- 接続設定情報の収集
- 接続形態の決定

### 2

#### 接続する

- ネットワーク接続
- プリンタードライバーの設定

### 3

#### セキュリティ設定をする

- 管理者設定
- SSL/TLS
- プロトコル制御
- IPsec/IP フィルタリング

#### 関連情報

- ➔ [「接続編」 14 ページ](#)
- ➔ [「機能設定編」 21 ページ](#)
- ➔ [「セキュリティ編」 27 ページ](#)

---

## プリンター接続設定の紹介

プリンターのネットワーク接続は主に以下の2つのタイプがあります。どちらもプリンターを直接ネットワークに接続します。

- サーバークライアント型接続（Windows サーバーによるプリンター共有）
- ピアツーピア型接続（直接印刷）

#### 関連情報

- ➔ [「サーバークライアント型接続設定」 11 ページ](#)
- ➔ [「ピアツーピア型接続設定」 11 ページ](#)

---

## サーバークライアント型接続設定

**接続方法：**

プリンターをハブ（L2 スイッチ）経由で直接ネットワークに接続します。プリンターとサーバーを USB ケーブルで直接接続することもできます。

**プリンタードライバー：**

Windows サーバー上に、各クライアントコンピューターの OS におけるシステムの種類に対応したドライバーをインストールします。

Windows サーバーにアクセスしてプリンターをリンクすると、クライアントコンピューターにインストールされて使用できるようになります。

**特徴：**

- プリンターやプリンタードライバーを一括管理できます。
- 全ての印刷データはサーバーを経由するため、サーバーの能力によっては印刷開始までに時間がかかることがあります。
- Windows サーバーが停止していると印刷できません。

**関連情報**

➔ [「マニュアルで使用する用語の定義」 8 ページ](#)

---

## ピアツーピア型接続設定

**接続方法：**

プリンターをハブ（L2 スイッチ）経由で直接ネットワークに接続します。

**プリンタードライバー：**

プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。EpsonNet SetupManager を使ったパッケージ配布や、Windows サーバーのグループポリシーを使って自動配信ができます。

**特徴：**

- プリンターに直接印刷データを送るので、印刷開始までに時間がかかりません。
- プリンターが稼働していれば印刷できます。

**関連情報**

➔ [「マニュアルで使用する用語の定義」 8 ページ](#)

---

## ネットワーク接続の準備

---

### 接続設定情報の収集

ネットワーク接続には IP アドレスやゲートウェイアドレスなどが必要です。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	備考
接続方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>有線 LAN</li> </ul>	カテゴリ 5e 以上の STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを使用してください。
LAN 接続情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>IP アドレス</li> <li>サブネットマスク</li> <li>デフォルトゲートウェイ</li> </ul>	ルーターの DHCP 機能で IP アドレスを自動で割り当てている場合は不要です。
DNS サーバー情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>プライマリー DNS の IP アドレス</li> <li>セカンダリー DNS の IP アドレス</li> </ul>	IP アドレスに固定 IP アドレスを使う場合は、DNS サーバーを設定してください。 IP アドレスを DHCP 機能によって自動割り当てをしている場合は、DNS サーバーを自動取得できない場合に設定してください。

## プリンター仕様

プリンターが対応している規格や接続モードなどの仕様は『取扱説明書 詳細編』をご覧ください。

## IP アドレスの割り当てタイプ

プリンターの IP アドレス割り当てには以下のタイプがあります。

### 固定 IP アドレス：

あらかじめ決めた固有の IP アドレスをプリンターに割り当てます。

プリンターやルーターの電源を切っても IP アドレスは変更されないので、IP アドレスによる管理ができます。

多数のプリンターを管理する大規模オフィスや学校などのネットワークにお勧めします。

### DHCP 機能による自動割り当て：

プリンターを接続し、DHCP 機能を提供しているルーターなどの機器と正常に通信できれば、正しい IP アドレスが自動で割り当てられます。

IP アドレスが変わると支障のあるデバイスには、IP アドレスを予約して同じ IP アドレスを割り当てることができます。

#### 参考

プリントキューのポート指定は、EpsonNet Print Port (エプソンネット プリント ポート) など IP アドレスを自動追従できるプロトコルを選択します。

## ネットワーク接続設定方法の紹介

プリンターの IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどのネットワーク接続は、以下のような方法で設定します。

### プリンターのパネルを使う：

プリンターのパネルを使って設定します。ネットワークに接続する前に IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの設定ができます。

### EpsonNet Config を使う：

システム管理者のコンピューターから EpsonNet Config を使って設定します。プリンターを探索して設定したり、複数のプリンターを一括で設定したりできます。複数のプリンターを設定できますが、設定前に LAN ケーブルでネットワークに接続する必要があります。設定用に有線 LAN を構築し、ネットワーク設定をしてから使用したいネットワークに接続するとセキュリティーのリスクを低減できます。

### 関連情報

- ➔ [「プリンターのパネルを使って IP アドレスを設定する」 14 ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Config で IP アドレスを設定する」 16 ページ](#)

# 接続編

この章では、プリンターをネットワークに接続するための環境や手順について説明しています。

## ネットワークに接続する

プリンターを有線 LAN に接続します。

### プリンターのパネルを使って IP アドレスを設定する

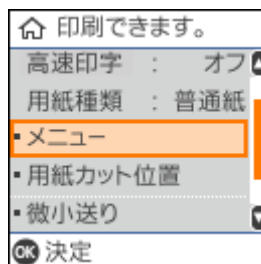
ホストアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的な IP アドレス設定をします。

ここでは固定 IP アドレスを設定する手順を説明します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ ボタンを使ってフォーカスを移動し、[OK] ボタンを押して確定します。

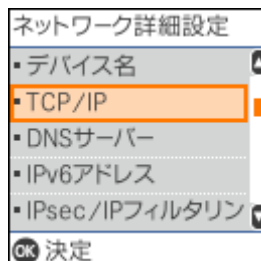
1 プリンターの電源を入れます。

2 操作パネルのホーム画面で [メニュー] を選択します。



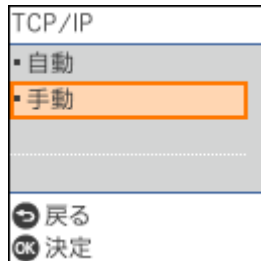
3 [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] の順に選択します。

4 [TCP/IP] を選択します。



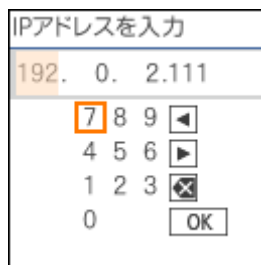
**5** [手動] を選択します。

IP アドレスをルーターなどの DHCP 機能で自動設定する場合は [自動] を選択してください。[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] が自動設定され、IP アドレスの設定は終了です。



**6** IP アドレスを入力します。

◀ または ▶ を選択すると、ピリオドで区切られた前後の区切りにフォーカスが移動します。



**7** 同様に [サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を設定します。

設定が終了すると [ネットワーク詳細設定] 画面に戻ります。

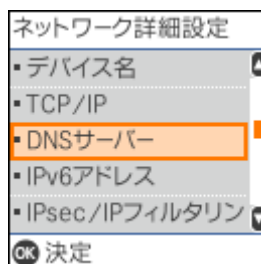
**参考**

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、設定を続けることができません。入力した値に間違いがないか確認してください。

## DNS サーバーを設定する

IP アドレスの設定に引き続き、必要に応じて DNS サーバーを設定します。

**1** [ネットワーク詳細設定] 画面で [DNS サーバー] を選択します。



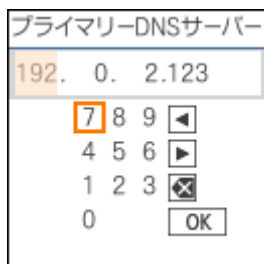
**2** [自動]、[手動] を選択します。

IP アドレスを [自動] にした場合は DNS サーバー設定で [自動]、[手動] を選択できます。DNS サーバーのアドレスが自動取得できない場合に [手動] を選択して、次の手順に進み DNS サーバーのアドレスを入力してください。

[自動] を選択した場合は、DNS サーバーの設定は終了です。

**3** プライマリー DNS の IP アドレスを入力します。

◀ または ▶ を選択すると、ピリオドで区切られた前後の区切りにフォーカスが移動します。



**4** 同様にセカンダリー DNS サーバーを設定します。

セカンダリー DNS サーバーがない場合は、“0.0.0.0” に設定してください。

設定が終了すると [ネットワーク詳細設定] 画面に戻ります。

## EpsonNet Config で IP アドレスを設定する

EpsonNet Config でプリンターの IP アドレスを設定できます。

### EpsonNet Config のインストール

EpsonNet Config (EpsonNet Config SE) はエプソンのウェブサイトからダウンロードしてインストールします。

**1** 以下のウェブサイトアクセスして、製品型番を入力して検索します。

[www.epson.jp/support/](http://www.epson.jp/support/)

**2** 製品のサポートメニューから「ドライバー・ソフトウェアダウンロード」を選択します。

**3** 画面の指示に従い、ダウンロードします。

**4** ダウンロードしたソフトウェアを実行してインストールしてください。

### EpsonNet Config の起動

[すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] から [EpsonNet Config] を選択します。

**参考**

Windows ファイアウォールの警告画面が表示された場合は、EpsonNet Config を例外のプログラムに登録してください。

## IP アドレスの設定


**1** プリンターの電源を入れます。

**2** LAN ケーブルでプリンターをネットワークに接続します。

**3** EpsonNet Config を起動します。

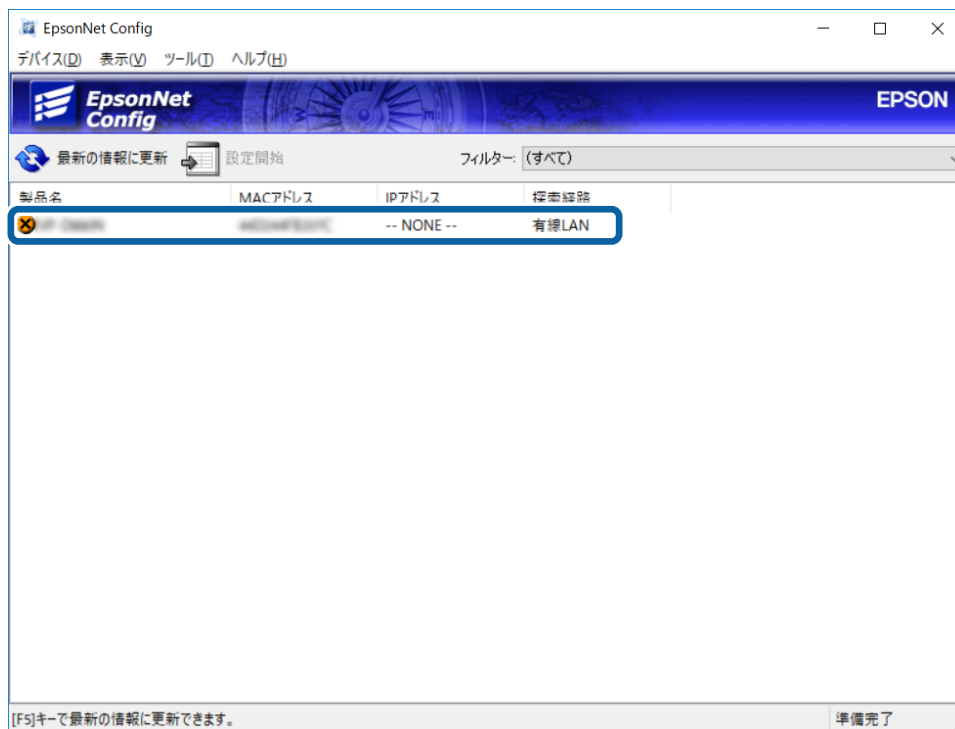
ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。

**4** 設定するプリンターをダブルクリックします。

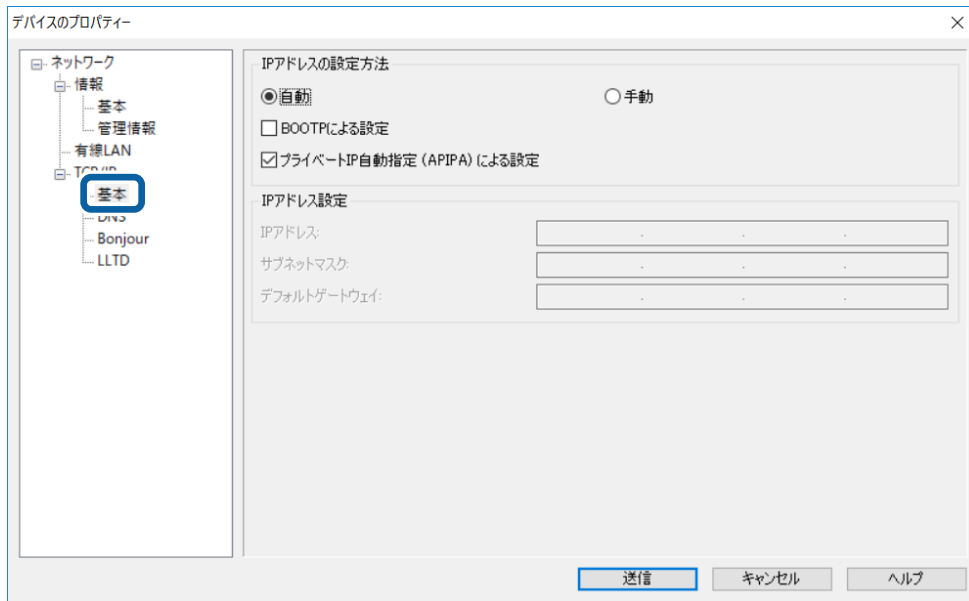
DHCP 機能が有効なネットワークに接続した場合は、IP アドレスが DHCP 機能によって割り当てられ、が表示されます。固定 IP アドレスを使用しない場合は、ネットワーク接続設定はこれで終了です。

**参考**

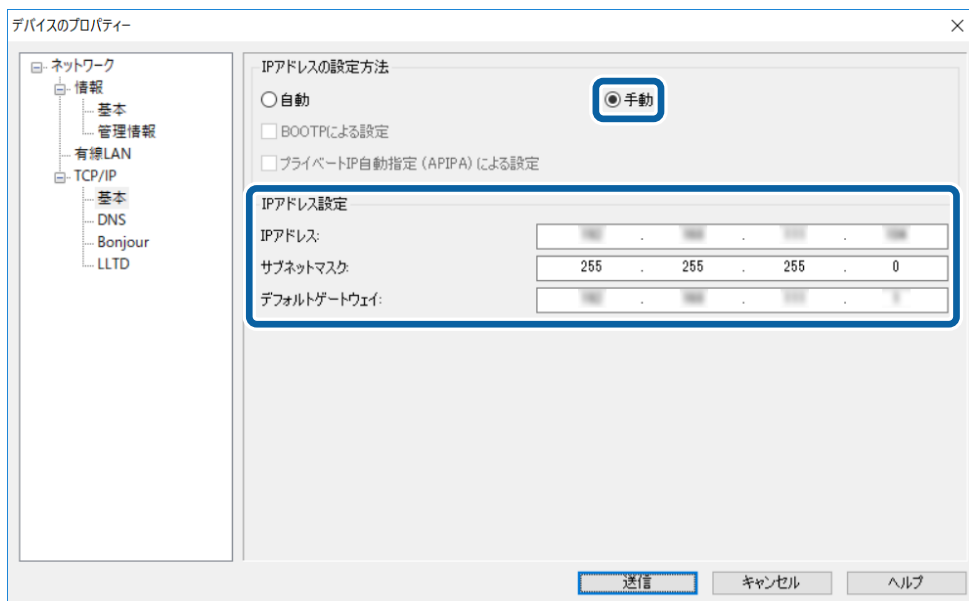
- 同じ製品名のプリンターを複数台接続した場合は、MAC アドレスで識別できます。
- IP アドレスの割り当て方法はネットワーク接続後に変更できます。



5 左のメニューから [ネットワーク] - [TCP/IP] - [基本] を選択します。



6 [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を設定します。



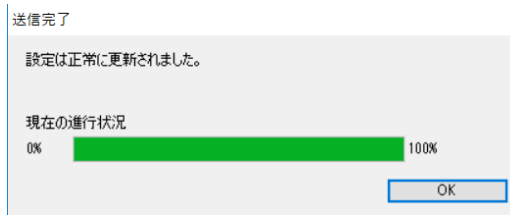
**参考**

- セキュアなネットワークにプリンターを接続する場合は、固定アドレスを設定してください。
- [TCP/IP] メニューでは [DNS] で DNS の設定ができます。

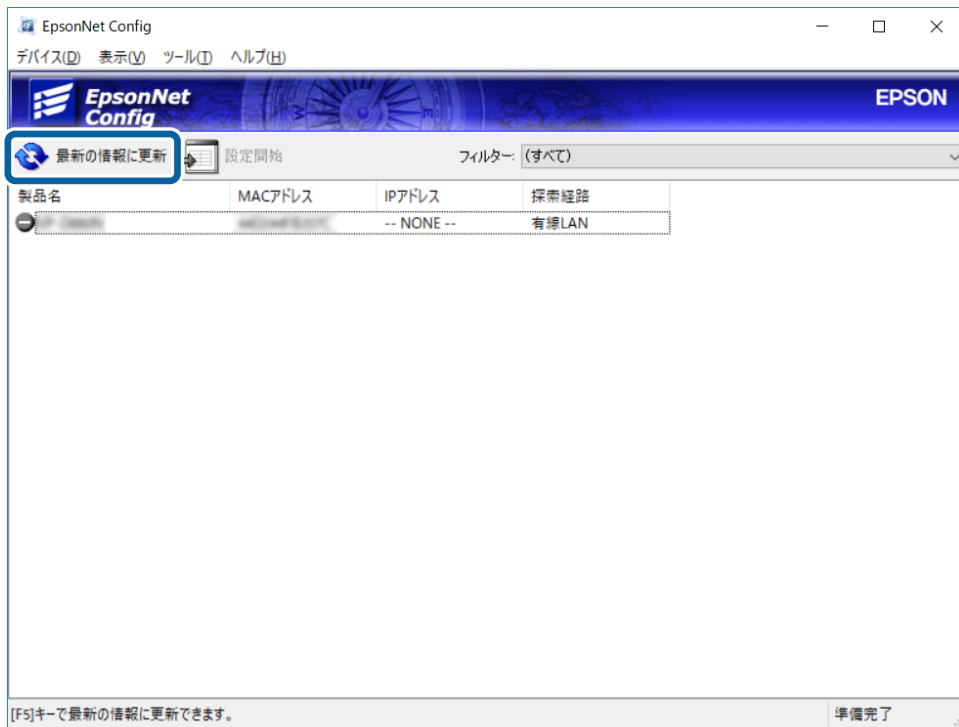
7 [送信] をクリックします。

8 確認画面で [OK] をクリックします。

9 [OK] をクリックします。

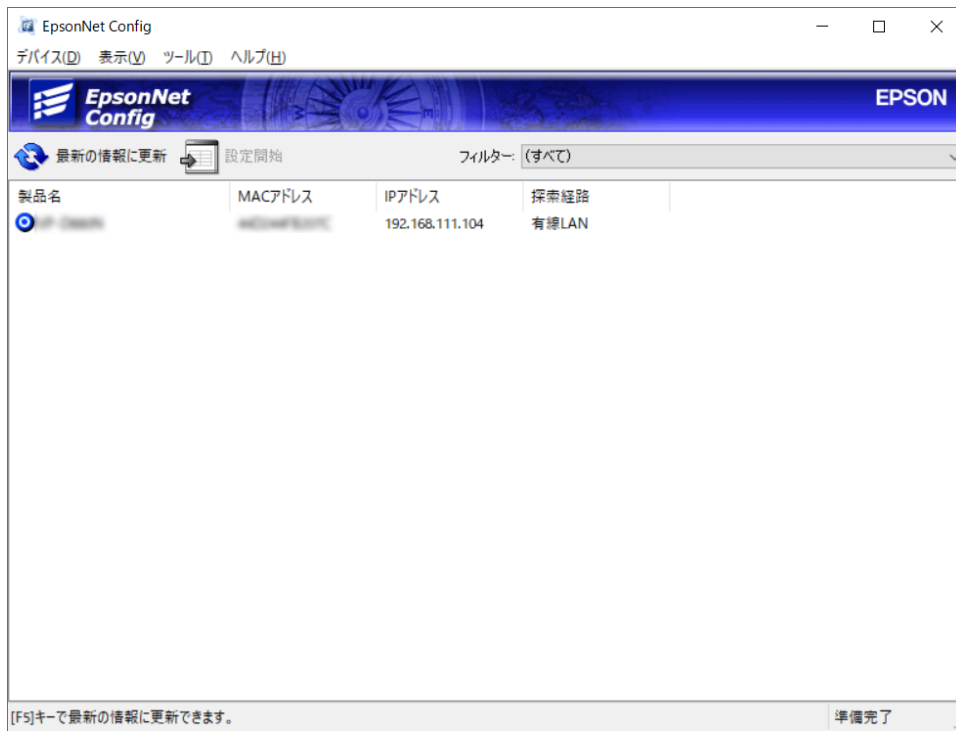


10 [最新の情報に更新] をクリックします。



## 接続編

IP アドレスが割り振られていることを確認してください。



---

# 機能設定編

---

この章では、デバイスの各機能を使うために始めに設定する部分の説明をしています。  
ここでは Web Config を使って、システム管理者のコンピューターから設定する手順を中心に紹介します。

## Web Config (デバイスのウェブページ)

---

### Web Config の概要

Web Config はプリンターの設定確認や変更がウェブブラウザ上でできるアプリケーションソフトです。  
Web Config を使用するには、あらかじめプリンターに IP アドレスを設定しておく必要があります。



プリンターに管理者パスワードを設定すると、管理者以外が設定を変更できないようにロックできます。

---

### Web Config の起動

Web Config の起動には2つの方法があります。ブラウザの JavaScript を有効にしてください。

### EpsonNet Config を使う

ネットワーク上のコンピューターから EpsonNet Config を起動して、一覧からプリンターを選択し、ダブルクリックします。

### IP アドレスを入力する

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザを起動して、プリンターの IP アドレスを入力します。HTTPS アクセスではプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Config を起動するとブラウザに警告が表示されます。

- HTTPS アクセス
  - IPv4 : `https://プリンターの IP アドレス`
  - IPv6 : `https://[プリンターの IP アドレス]`
- HTTP アクセス
  - IPv4 : `http://プリンターの IP アドレス`
  - IPv6 : `http://[プリンターの IP アドレス]`

**参考**

## • 記入例

IPv4:

<https://192.0.2.111/><http://192.0.2.111/>

IPv6:

[https://\[2001:db8::1000:1\]/](https://[2001:db8::1000:1]/)[http://\[2001:db8::1000:1\]/](http://[2001:db8::1000:1]/)

• DNS にプリンター名を登録すると、IP アドレスの代わりにプリンター名が使用できます。

• HTTP で起動した Web Config では一部のメニューしか表示されません。HTTPS で起動すると全てのメニューが表示されます。

**関連情報**➔ [「プリンターとの SSL/TLS 通信」 33 ページ](#)➔ [「使用できる電子証明書」 33 ページ](#)

## 印刷機能を使う

プリンターの印刷機能を使用できるようにします。

---

## ネットワークで印刷するために必要なこと

ネットワークで印刷するには、以下の対応が必要です。これらはプリンタードライバーとオペレーションシステムの機能を使って設定します。

- プリンタードライバーのインストール
- コンピューターへのプリントキューの作成
- ネットワーク用のポート設定

---

## サーバークライアント型接続でのプリンタードライバー設定

プリントサーバーのコンピューターから印刷できるように設定してから、プリンターを共有します。プリントサーバーのコンピューターとクライアントコンピューターが異なるバージョンの Windows で動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーにインストールします。

プリンタードライバーはエプソンのホームページからダウンロードしてインストールしてください。

➔『取扱説明書 セットアップと使い方の概要編』（紙 マニュアル）－「プリンターをセットアップする」－「8. プリンタードライバーと監視ユーティリティのインストール」

---

## Standard TCP/IP ポートを設定する-Windows

プリントサーバー上で Standard TCP/IP ポートを設定して、ネットワーク印刷用のプリントキューを作成します。

**1** Windows で [プリンターとスキャナー] または [デバイスとプリンターの表示] ウィンドウを開きます。

- Windows 11/Windows Server 2025/Windows Server 2022

スタートボタンをクリックし、[設定] - [Bluetooth とデバイス] - [プリンターとスキャナー] の順に選択します。

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016  
スタートボタンをクリックして、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] (または [ハードウェア]) - [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。

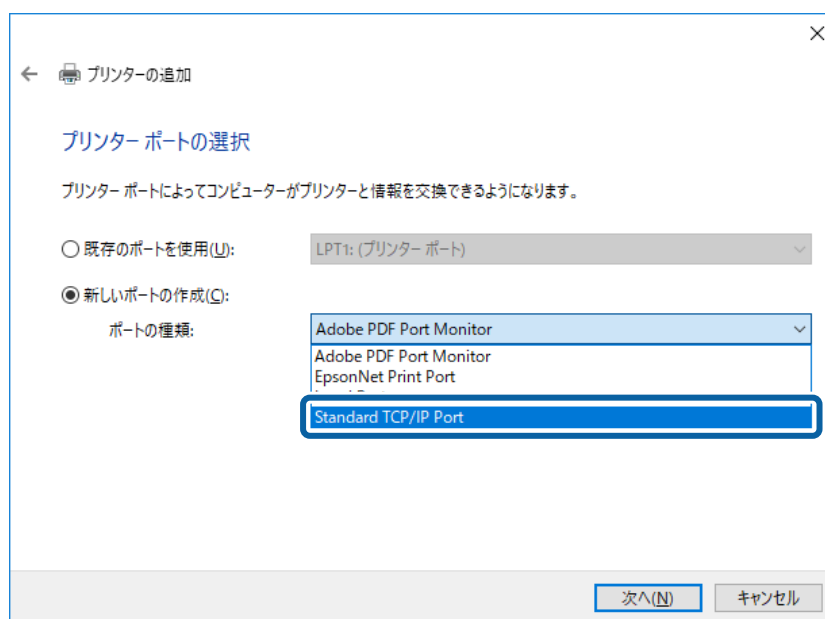
## 2 プリンターを追加します。

- Windows 11/Windows Server 2025/Windows Server 2022  
[デバイスの追加] を選択して [プリンターが一覧にない場合] の [手動で追加] を選択します。
- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016  
[プリンターの追加] をクリックして、表示される画面で [プリンターが一覧にない場合] を選択します。

## 3 ローカルプリンターを追加します。

[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択して、[次へ] をクリックします。

## 4 [新しいポートの作成] を選択し、ポートの種類から [Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ] をクリックします。



## 5 [ホスト名または IP アドレス] (または [プリンター名または IP アドレス]) にプリンター名、またはプリンターの IP アドレスを入力して、[次へ] をクリックします。

[ポート名] は変更しないでください。

[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは [続行] をクリックします。

#### 参考

名前で検索が可能なネットワークでプリンター名を指定した場合は、DHCP によってプリンターの IP アドレスが変更になっても追従できます。プリンター名は、操作パネルのネットワーク情報表示またはネットワークステータスシートで確認できます。

## 6 プリンタードライバーを設定します。

[製造元] - [プリンター] を選択します。[次へ] をクリックします。

## 7 この後は、画面の指示に従って操作します。

続いてポート構成の確認をしてください。

サーバークライアント型接続 (Windows サーバーによるプリンター共有) でプリンターを使用する場合は、続いてプリンターを共有設定します。

#### 関連情報

➔ [「プリンターを共有する」 25 ページ](#)

### ポート構成を確認する

プリントキューに適切なポートが設定されているか確認します。

## 1 Windows で [プリンターとスキャナー] または [デバイスとプリンター] ウィンドウを開きます。

- Windows 11/Windows Server 2025/Windows Server 2022  
スタートボタンをクリックし、[設定] - [Bluetooth とデバイス] - [プリンターとスキャナー] の順に選択します。

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016  
スタートボタンをクリックして、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。

## 2 プリンターのプロパティ画面を開きます。

- Windows 11/Windows Server 2025/Windows Server 2022  
対象プリンターをクリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016  
対象プリンターのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

## 3 [ポート] タブをクリックし、[標準の TCP/IP ポート] を選択して、[ポートの構成] をクリックします。

## 4 ポートの構成を確認します。

- RAW の場合  
[プロトコル] で [Raw] が選択されていることを確認して、[OK] をクリックします。
- LPR の場合  
[プロトコル] で [LPR] が選択されていることを確認します。[LPR 設定] の [キュー名] に「PASSTHRU」と入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] をチェックして、[OK] をクリックします。

## プリンターを共有する

サーバークライアント型接続（Windows サーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、プリントサーバーからプリンターを共有設定します。

## 1 プリンターサーバーのコンピューターで [プリンターとスキャナー] または [デバイスとプリンター] ウィンドウを開きます。

- Windows 11/Windows Server 2025/Windows Server 2022  
スタートボタンをクリックし、[設定] - [Bluetooth とデバイス] - [プリンターとスキャナー] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016  
スタートボタンをクリックして、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。

## 2 共有したいプリンターをクリックするか、プリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。

## 3 [このプリンターを共有する] を選択して、[共有名] を入力します。

## 共有プリンターを使う

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順として、プリントサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。[プリンターとスキャナー] または [デバイスとプリンター] からプリンターを追加する手順を案内してください。

---

## ピアツーピア型接続でのプリンタードライバー設定

ピアツーピア型接続（直接印刷）の場合、プリンターを使用するそれぞれのクライアントコンピューターにドライバーをインストールします。

### 関連情報

➔ [「プリンタードライバーを設定する」 26 ページ](#)

## プリンタードライバーを設定する

小規模なネットワークの場合、それぞれのクライアントコンピューターでプリンタードライバーをインストールすることをお勧めします。

➔ 『取扱説明書 セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル） - 「プリンターをセットアップする」 - 「8. プリンタードライバーと監視ユーティリティのインストール」

### 参考

たくさんのクライアントコンピューターからプリンターを使用する場合は、EpsonNet SetupManager を使ってドライバーをパッケージして配布すると、インストール作業を大幅に軽減できます。

### 関連情報

➔ [「EpsonNet SetupManager」 58 ページ](#)

# セキュリティ編

この章では、セキュリティ設定について説明しています。

## セキュリティ設定と防止できる脅威

ネットワークにデバイスを接続すると、離れた場所からアクセスして使用できます。また、デバイスを共有してたくさんの人が使用でき、業務効率や利便性の向上に役立ちます。その一方で、不正アクセスや不正使用、データの改ざんなどのリスクも高くなります。

リスクを回避するため、エプソン製プリンターにはさまざまなセキュリティ技術を搭載しています。お客さまの情報環境での条件に合わせて、必要なセキュリティ設定をしてください。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
管理者パスワードの設定	ネットワークや USB の接続設定のような、システムに関わる設定をロックします。	システム管理者がデバイスにパスワードを設定します。 Web Config、操作パネル、Epson Device Admin、EpsonNet Config のどこからでも設定や変更ができます。	デバイスに保持されている ID やパスワード、ネットワーク設定、アドレス帳等の情報が不正に参照または変更されるのを防ぎます。また、ネットワーク環境やセキュリティポリシーまたはそれらに類する情報の漏えいなど、広範囲のセキュリティリスクにつながる危険性を低減します。
プロトコル、サービスの制御	デバイスやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくすることで、意図されない利用によるセキュリティリスクを軽減できます。
SSL/TLS 通信	SSL/TLS 通信でコンピューターとプリンターの通信経路を暗号化します。ブラウザ経由のプリンター設定や IPPS プロトコルの印刷などで通信の内容が保護されます。	CA 署名証明書を CA 局から取得し、プリンターにインポートします。	CA 署名証明書によってデバイスの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容が SSL/TLS によって保護されるため、設定情報や印刷データ内容の漏えいが防げます。
IPsec/IP フィルタリング	特定のクライアントからのデータや、特定の種類のデータだけを通過、遮断する設定ができます。IPsec は IP パケット単位で保護（暗号化および認証）するため、セキュアでない印刷プロトコルを安全に通信できます。	基本ポリシー、個別ポリシーを作成し、デバイスにアクセスできるクライアントやデータの種類を設定します。	デバイスへの不正アクセス、通信データの傍受や改ざんを防止できます。
SNMPv3	ネットワークで接続されたデバイスの監視、制御する SNMP プロトコルにデータの整合性、暗号化、ユーザー認証などの機能が追加されています。	SNMPv3 を有効にして、認証や暗号化の方法を設定します。	ネットワーク経由での設定変更や、状態監視での機密性が確保できます。

### 関連情報

- ➔ [「管理者パスワードの設定」 28 ページ](#)
- ➔ [「利用するプロトコルやサービスを制御する」 29 ページ](#)
- ➔ [「プリンターとの SSL/TLS 通信」 33 ページ](#)

## セキュリティー機能の設定

IPsec/IP フィルタリングの設定は、改ざん、傍受などのセキュリティーリスク低減のために、SSL/TLS 通信で Web Config にアクセスして設定することをお勧めします。

## 管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、管理者以外がシステム管理に関する設定を変更できなくなります。管理者パスワードは Web Config から設定、変更ができます。

### 関連情報

➔ [「Web Config から管理者パスワードを設定する」 28 ページ](#)

## Web Config から管理者パスワードを設定する

Web Config を使って管理者パスワードを設定します。

**1** Web Config で **「管理者設定」 - 「管理者パスワード変更」** を選択します。

**2** **「新しいパスワード」** と **「新しいパスワードの確認」** にパスワードを入力します。

初めて管理者パスワードを設定するときは、**「現在のパスワード」** は空欄のままにしておいてください。  
設定済みの管理者パスワードを変更する場合は、**「現在のパスワード」** に現在のパスワードを入力し、**「新しいパスワード」** と **「新しいパスワードの確認」** に新しいパスワードを入力します。

The screenshot shows the 'Administrator Password Change' screen in the Web Config interface. On the left is a sidebar with the EPSON logo and a menu containing: 情報確認, ネットワーク設定, ネットワークのセキュリティー設定, 利用サービス, and 管理者設定. Under '管理者設定', '管理者パスワード変更' and '管理者名/連絡先' are listed. The main content area is titled '管理者設定 > 管理者パスワード変更' and contains three input fields: '現在のパスワード:', '新しいパスワード:', and '新しいパスワードの確認:'. The '新しいパスワード:' field has a hint: '半角英数字記号1~20文字を入力'. Below the fields is a '設定' button and a note: '※管理者パスワードを入力するときは、HTTPSで暗号化して通信することをお勧めします。'

**3** **「設定」** を選択します。

### 参考

- ロックされている項目を設定、変更するには **「管理者ログイン」** をクリックして管理者パスワードを入力します。
- 管理者パスワードを削除するには、**「管理者設定」 - 「管理者パスワード削除」** をクリックして管理者パスワードを入力します。

### 関連情報

➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

# 利用するプロトコルやサービスを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティリスクを軽減できます。

## プロトコルを制御する

製品が対応している制御可能なプロトコルの設定をします。

**1** Web Config で [利用サービス] - [プロトコル] を選択します。

**2** 各項目を設定します。

**3** [次へ] をクリックします。

**4** [設定] をクリックします。  
設定がプリンターに反映されます。

### 関連情報

- ➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)
- ➔ [「有効・無効が設定可能なプロトコル」 29 ページ](#)
- ➔ [「プロトコルの設定項目」 30 ページ](#)

## 有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour 設定	Bonjour を使用するかを指定できます。Bonjour は機器の検索や印刷などに使われます。
SLP 設定	SLP 機能の有効・無効が設定できます。SLP はエプソンプリンターでは EpsonNet Config でのネットワーク探索に使われます。
LLTD 設定	LLTD の有効・無効が設定できます。有効にすると Windows のネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR 設定	LLMNR の有効・無効が設定できます。有効にすると DNS が使えない状況でも NetBIOS を使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR 設定	LPR 印刷を許可するかを指定できます。有効にすると LPR ポートからの印刷ができるようになります。
RAW (Port9100) 設定	RAW ポート (Port9100) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にすると RAW ポート (Port9100) からの印刷ができるようになります。
RAW (任意ポート) 設定	RAW ポート (任意ポート) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にすると RAW ポート (任意ポート) からの印刷ができるようになります。
IPP 設定	IPP からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷ができるようになります。

プロトコル	説明
FTP 設定	FTP 印刷を許可するかを指定できます。有効にすると FTP サーバーからの印刷ができるようになります。
SNMPv1/v2c 設定	SNMPv1/v2c の有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは機器の設定や監視などに使われます。
SNMPv3 設定	SNMPv3 の有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは暗号化した機器の設定や監視などの通信で使われます。

関連情報

- ➔ 「プロトコルを制御する」 29 ページ
- ➔ 「プロトコルの設定項目」 30 ページ

プロトコルの設定項目



アイテム	設定値と説明
Bonjour 設定	
Bonjour を使用する	チェックを入れると Bonjour で機器を検索または使用することを許可します。
Bonjour 名	Bonjour 名が表示されます。
Bonjour サービス名	Bonjour サービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjour のロケーションが表示されます。
最優先プロトコル	Bonjour 印刷の最優先プロトコルを選択します。
SLP 設定	

## セキュリティ編

アイテム	設定値と説明
SLP 機能を有効にする	チェックを入れると SLP 機能が有効になります。EpsonNet Config でのネットワーク検索に使われます。
LLTD 設定	
LLTD を有効にする	チェックを入れると LLTD が有効になります。有効にすると Windows のネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTD のデバイス名が表示されます。
LLMNR 設定	
LLMNR を有効にする	チェックを入れると LLMNR が有効になります。有効にすると DNS が使えない状況でも NetBIOS を使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR 設定	
LPR ポートからの印刷を許可する	チェックを入れると LPR ポートからの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	LPR 印刷の通信のタイムアウト時間を 0~3600 秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
RAW (Port9100) 設定	
RAW ポート (Port9100) からの印刷を許可する	チェックを入れると RAW ポート (Port9100) からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW ポート (Port9100) 印刷の通信タイムアウト時間を 0~3600 秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
RAW (任意ポート) 設定	
ポート番号	RAW (任意ポート) のポート番号を 1024~65535 の範囲で入力します。ただし、9100、1865、2968 は除きます。
RAW ポート (任意ポート) からの印刷を許可する	チェックを入れると RAW ポート (任意ポート) からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW (任意ポート) 印刷の通信タイムアウト時間を 0~3600 秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
IPP 設定	
IPP を有効にする	チェックを入れると IPP 通信が有効になります。IPP をサポートしているプリンターのみ表示されます。
非セキュア通信を許可する	チェックを入れると非セキュア (IPP) で通信します。
通信タイムアウト (秒)	IPP 印刷の通信のタイムアウト時間を 0~3600 秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
URL (ネットワーク)	有線 LAN で接続されている場合に IPP の URL (http と https) が併記されます。URL はプリンターの IP アドレスとポート番号と IPP のプリンター名が組み合わされた値です。
プリンター名	IPP のプリンター名が表示されます。
ロケーション	IPP のロケーションが表示されます。
FTP 設定	
FTP サーバーを有効にする	チェックを入れると FTP 通信が有効になります。FTP 印刷をサポートしているプリンターのみ表示されます。

## セキュリティ編

アイテム	設定値と説明
通信タイムアウト (秒)	FTP 印刷の通信のタイムアウト時間を 0～3600 秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
SNMPv1/v2c 設定	
SNMPv1/v2c を有効にする	チェックを入れると SNMPv1/v2c を有効にします。SNMPv3 をサポートしているプリンターのみ表示されます。
アクセス権限	SNMPv1/v2c を有効にした場合にアクセス権限を設定します。[読み込み専用] または [読み書き可能] を選択します。
コミュニティ名 (読み込み専用)	ASCII (0x20～0x7E) で表せる 32 文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
コミュニティ名 (読み書き可能)	ASCII (0x20～0x7E) で表せる 32 文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
IP トラップ 1～4	
IP トラップ X を有効にする	IP トラップ 1、2、3 または 4 を有効にするときにチェックを付けます。
アドレス	トラップ送信先の IP アドレスを入力します。
コミュニティ名	コミュニティ名を入力します。32 文字以内の半角英数と空白および次の記号が使用できます。!\$%&()*+,-.:;=?@^_~
ポート番号	Trap を受け取るホストのポート番号を 0 ～ 65535 の 10 進数で設定します。
SNMPv3 設定	
SNMPv3 を有効にする	チェックを入れると SNMPv3 が有効になります。
ユーザー名	1 バイト文字を使って 1～32 文字以内で入力します。
認証設定	
アルゴリズム	SNMPv3 の認証用のアルゴリズムを選択します。
パスワード	SNMPv3 の認証パスワードを入力します。ASCII (0x20-0x7E) で表せる 32 文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定	
アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを選択します。
パスワード	暗号化パスワードを入力します。ASCII (0x20-0x7E) で表せる 8～32 文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名	Unicode (UTF-8) で表せる 32 文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。言語によって扱える文字数は異なります。

### 関連情報

- ➔ [「プロトコルを制御する」 29 ページ](#)
- ➔ [「有効・無効が設定可能なプロトコル」 29 ページ](#)

# プリンターとの SSL/TLS 通信

SSL/TLS (Secure Sockets Layer/Transport Layer Security) 通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

## 使用できる電子証明書

- CA 署名証明書

認証機関 (CA 局) によって署名された証明書は、CA 局に申請して発行してもらいます。信頼性のある CA 局の証明書を使用すると、データ通信の安全が確保できます。CA 署名証明書は、取得した各セキュリティ機能だけでなく、他の機能でも使用できます。

- CA 証明書

CA 署名証明書のチェーンやチェーン内の証明書です。接続相手サーバーの検証に使用できます。相手サーバーの証明書を発行した CA 局から入手します。

- 自己署名証明書

プリンターが自ら発行し署名した証明書です。証明書としては信頼性がなく、なりすましは防げません。また、SSL 通信をすると、ブラウザからセキュリティ警告が出ることがあります。自己署名証明書は SSL 通信のみで使用できます。

### 関連情報

- ➔ [「CA 署名証明書の取得とインポート」 33 ページ](#)
- ➔ [「CA 署名証明書を削除する」 36 ページ](#)
- ➔ [「自己署名証明書を更新する」 37 ページ](#)

## CA 署名証明書の取得とインポート

### CA 署名証明書を取得する

CA 署名証明書を取得するには CSR (証明書発行要求) を生成し、CA 局に申請します。CSR は Web Config かコンピューターで生成してください。

ここでは Web Config から取得する方法を説明します。Web Config で生成した CSR の証明書は PEM/DER 形式です。

**1** Web Config で [ネットワークのセキュリティ設定] を選択し、[SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

**2** [生成] の [CSR] をクリックします。

CSR 生成画面が開きます。

**3** 各項目を設定します。

**参考**

対応している公開鍵長や省略の可否は CA 局によって異なることがあります。申請する CA 局のルールに従って記載してください。

**4** [設定] をクリックします。  
 インポートされると完了メッセージが表示されます。

**5** [ネットワークのセキュリティー設定] を選択し、[SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

**6** CA 局規定のファイル形式に従い [CSR] のダウンロードボタンをクリックして、CSR をコンピューターにダウンロードします。

**!重要**

再度 CSR を生成しないでください。交付された CA 署名証明書がインポートできなくなります。

**7** 保存した CSR を CA 局に送付し、CA 署名証明書を入手します。  
 送付方法や送付形態は、CA 局の規定に従ってください。

**8** 入手した CA 署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。  
 指定場所に CA 署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

- ➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)
- ➔ [「CSR の設定項目」 34 ページ](#)
- ➔ [「CA 署名証明書をインポートする」 35 ページ](#)

CSR の設定項目

アイテム	設定値と説明
公開鍵長	CSR に使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1~128 文字以内で入力できます。IP アドレスを指定するときは、固定の IP アドレスを設定します。 設定例: Web Config にアクセスする URL: https://10.152.12.225 コモンネーム: 10.152.12.225

アイテム	設定値と説明
組織名/部署名/市町村名/都道府県名	ASCII (0x20-0x7E) で表せる 0~64 文字以内で入力できます。ディスタングイッシュネーム (CN) はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166 で規定している 2 文字の国コードを入力します。

**関連情報**

➔ [「CA 署名証明書を取得する」 33 ページ](#)

## CA 署名証明書をインポートする

**!重要**

- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。
- Web Config で生成した CSR で証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

**1** Web Config で [ネットワークのセキュリティ設定] を選択し、[SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

**2** [インポート] をクリックします。  
証明書インポート設定画面が開きます。

**3** 各項目を設定します。  
インポートの設定内容は、CSR の生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

- Web Config から取得した PEM/DER 形式の証明書
  - [秘密鍵]：プリンターで保持しているため設定しない
  - [パスワード]：設定しない
  - [CA 証明書 1] / [CA 証明書 2]：任意
- コンピューターから取得した PEM/DER 形式の証明書
  - [秘密鍵]：設定する
  - [パスワード]：設定しない
  - [CA 証明書 1] / [CA 証明書 2]：任意
- コンピューターから取得した PKCS#12 形式の証明書
  - [秘密鍵]：設定しない
  - [パスワード]：任意
  - [CA 証明書 1] / [CA 証明書 2]：設定しない

**4** [設定] をクリックします。  
インポートされると完了メッセージが表示されます。

**参考**

[表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

- ➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)
- ➔ [「CA 署名証明書のインポート設定項目」 36 ページ](#)

CA 署名証明書のインポート設定項目

アイテム	設定値と説明
サーバー証明書またはクライアント証明書	取得した CA 署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。
秘密鍵	コンピューターで生成した CSR で PEM/DER 形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	秘密鍵暗号化のためのパスワードを入力します。
CA 証明書 1	ファイル形式が [証明書 (PEM/DER)] の場合、サーバー証明書を発行した CA 局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA 証明書 2	ファイル形式が [証明書 (PEM/DER)] の場合、[CA 証明書 1] を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

- ➔ [「CA 署名証明書をインポートする」 35 ページ](#)

## CA 署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

**重要**

Web Config で生成した CSR で取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。必要な場合は CSR を再生成して取得し直してください。

- 1 Web Config で [ネットワークのセキュリティ設定] を選択します。[SSL/TLS] - [証明書] を選択します。
- 2 [削除] をクリックします。

**3** 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

→ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

## 自己署名証明書を更新する

HTTPS サーバー機能を搭載しているプリンターは自己署名証明書の更新ができます。自己署名証明書を使用すると、Web Config の起動時に警告のメッセージが表示されます。

自己署名証明書は、CA 署名証明書を取得しインポートするまでの期間中、一時的に使用することをお勧めします。

**1** Web Config で [ネットワークのセキュリティー設定] - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

**2** [更新] をクリックします。

**3** [コモンネーム] を入力します。

プリンターにアクセスする IP アドレスや FQDN 名などの識別子を入力します。1~128 文字以内で入力できます。

**参考**

ディスタングイッシュネーム (CN) はカンマで分割できます。

**4** 証明書の有効期間を選択します。

**5** [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

**6** [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

**参考**

[表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

**関連情報**

→ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

## IPsec/IP フィルタリングで暗号化通信する

### IPsec/IP フィルタリングの概要

IPsec/IP フィルタリング機能を搭載したプリンターでは、IP アドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsec と組み合わせることによってさらに強固なセキュリティ通信ができます。フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはプリンターにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。個別ポリシーは、プリンターへの各アクセスに適用されるルールです。IP パケットを受け取ったプリンターはポリシーを参照し、IP パケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー 1、個別ポリシー 2 と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

**参考**

Windows Vista 以降または Windows Server 2008 以降の Windows は、IPsec に対応しています。

### 基本ポリシーを設定する

- 1** **Web Config** で [ネットワークのセキュリティ設定] - [IPsec/IP フィルタリング] - [基本] を選択します。
- 2** 各項目を設定します。
- 3** [次へ] をクリックします。  
確認画面が表示されます。
- 4** [設定] をクリックします。  
設定がプリンターに反映されます。

**関連情報**

→ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

→ [「基本ポリシーの設定項目」 39 ページ](#)

## 基本ポリシーの設定項目

アイテム	設定値と説明	
Psec/IP フィルタリング	IPsec/IP フィルタリング機能を有効または無効にします。	
通信処理	IP パケット通信の制御方法を設定します。	
	通信を通過	IP パケットの通過を許可するときに選択します。
	通信を遮断	IP パケットを遮断したいときに選択します。
	IPsec の使用	IPsec で送られたパケットの通過を許可するときに選択します。
IKE バージョン	IKE のバージョンが表示されます。	
認証方式	認証方式として事前共有キーが使用できます。	
事前共有キー	【認証方式】で【事前共有キー】を選択した場合、1～127 文字以内で事前共有キーが設定できます。	
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。	
カプセル化	【通信処理】で【IPsec の使用】を選択した場合、IPsec の通信モードを設定します。	
	トランスポートモード	主に同じ LAN 内だけでプリンターと IPsec 通信をする場合に選択します。IP パケットのレイヤー 4 以上のデータ部のみが暗号化されます。
	トンネルモード	主に IPsec-VPN のようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IP パケットのヘッダーとデータが暗号化されます。
リモートゲートウェイアドレス (トンネルモード)	【カプセル化】で【トンネルモード】を選択した場合、1～39 文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。	

アイテム	設定値と説明	
セキュリティプロトコル	[通信処理] で [IPsec の使用] を選択した場合、IPsec のセキュリティプロトコルを選択します。	
	ESP	認証とデータの完全性の確保に加えてデータ全体を暗号化したいときに選択します。
	AH	認証とデータの完全性を確保するために選択します。データは暗号化しないので、データの暗号化が禁止されていても IPsec 通信ができます。

**関連情報**

➔ [「基本ポリシーを設定する」 38 ページ](#)

## 個別ポリシーを設定する

- 1 **Web Config** で [ネットワークのセキュリティ設定] - [IPsec/IP フィルタリング] - [基本] を選択します。
- 2 設定したい番号のタブをクリックします。
- 3 各項目を設定します。
- 4 [次へ] をクリックします。  
確認画面が表示されます。
- 5 [設定] をクリックします。  
設定がプリンターに反映されます。

**関連情報**

➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)  
 ➔ [「個別ポリシーの設定項目」 41 ページ](#)

## 個別ポリシーの設定項目

EPSON

ネットワークのセキュリティ設定 > IPsec/IPフィルタリング > 基本

ポリシー適用の優先順位  
個別ポリシー-1 > 個別ポリシー-2 > ... 個別ポリシー-10 > デフォルトポリシー

基本ポリシー 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

この個別ポリシーを有効にする

通信処理: IPsecの使用

ローカルアドレス (プリンター): 使用可能な全てのアドレス

リモートアドレス (ホスト):

ポート指定方法: ポート番号

サービス名:

- 全て
- ENPC
- SNMP
- LPR
- RAW (Port9100)
- RAW (任意ポート)
- IPP/PPS
- WSD
- WS-Discovery
- Network Scan
- Network Push Scan
- Network Push Scan Discovery
- FTP データ (ローカル)
- FTP 制御 (ローカル)
- FTP データ (リモート)
- FTP 制御 (リモート)
- CIFS (ローカル)
- CIFS (リモート)
- HTTP (ローカル)
- HTTPS (ローカル)

アイテム	設定値と説明	
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。	
通信処理	通信を通過	IP パケットの通過を許可するときに選択します。
	通信を遮断	IP パケットを遮断したいときに選択します。
	IPsec の使用	IPsec で送られたパケットの通過を許可するときに選択します。
ローカルアドレス (プリンター)	お使いの環境に合った IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを選択します。プリンターの IP アドレスの取得方法が自動の場合は、[自動取得した IPv4 アドレスを使用する] が選択できます。	
リモートアドレス (ホスト)	通信を制御する機器の IP アドレスを入力します。IP アドレスは 0~43 文字以内で入力してください。何も入力しないと、全ての IP アドレスが制御の対象になります。 参考: IP アドレスが DHCP や自動取得 (IPv6) の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定の IP アドレスを設定してください。	
ポート指定方法	ポートの指定方法を設定します。	
サービス名	[ポート指定方法] で [サービス名] を選択した場合に設定します。	

アイテム	設定値と説明	
トランスポートプロトコル	[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択した場合に設定します。	
	全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。
	TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
	UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
	ICMPv4	ping コマンドを制御したい場合などに選択します。
ローカルポート	[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] か [UDP] を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大 10 個指定できます。 設定例: 20,80,119,5220 何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。	
リモートポート	[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] か [UDP] を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大 10 個指定できます。 設定例: 25,80,143,5220 何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。	
IKE バージョン	IKE のバージョンが表示されます。	
認証方式	[通信処理] で [IPsec の使用] を選択した場合に設定します。この証明書は基本ポリシーで設定した CA 署名証明書と共通です。	
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1~127 文字以内で事前共有キーが設定できます。	
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。	
カプセル化	[通信処理] で [IPsec の使用] を選択した場合、IPsec の通信モードを設定します。	
	トランスポートモード	主に同じ LAN 内だけでプリンターと IPsec 通信をする場合に選択します。IP パケットのレイヤー 4 以上のデータ部のみが暗号化されます。
	トンネルモード	主に IPsec-VPN のようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IP パケットのヘッダーとデータが暗号化されます。
リモートゲートウェイアドレス (トンネルモード)	[カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1~39 文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。	
セキュリティプロトコル	[通信処理] で [IPsec の使用] を選択した場合、IPsec のセキュリティプロトコルを選択します。	
	ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
	AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていても IPsec 通信ができます。

関連情報

- ➔ [「個別ポリシーを設定する」 40 ページ](#)
- ➔ [「ローカルアドレス \(プリンター\) とリモートアドレス \(ホスト\) の組合せ」 43 ページ](#)
- ➔ [「個別ポリシーのサービス名一覧」 43 ページ](#)

## ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せ

		ローカルアドレス（プリンター）の設定値		
		IPv4	IPv6*2	使用可能な全てのアドレス*3
リモートアドレス（ホスト）の設定値	IPv4*1	○	×	○
	IPv6*1*2	×	○	○
	空白	○	○	○

\*1 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、範囲指定はできません。

\*2 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合リンクローカルアドレス（fe80::）は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

\*3 IPv6 リンクローカルアドレスは除きます。

## 個別ポリシーのサービス名一覧



非対応のサービスは表示されますが、選択できません。

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	EpsonNet Config などのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索
SNMP	UDP	161	任意	EpsonNet Config などのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター MIB 情報の取得と設定
LPR	TCP	515	任意	LPR データの転送
RAW (Port9100)	TCP	9100	任意	RAW データの転送
RAW (任意ポート)	TCP	2501 (デフォルト)	任意	RAW データの転送
IPP/IPPS	TCP	631	任意	IPP/IPPS データの転送
WSD	TCP	任意	5357	WSD の制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSD のプリンター探索
Network Scan	TCP	1865	任意	Document Capture Pro からのスキャンデータの転送
Network Push Scan	TCP	任意	2968	Document Capture Pro からのプッシュスキャン時のジョブ情報取得

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
NetworkPush Scan Discovery	UDP	2968	任意	Document Capture Proからのプッシュスキャン時のコンピューター探索
FTP データ (ローカル)	TCP	20	任意	FTP サーバー (FTP 印刷のデータ転送)
FTP 制御 (ローカル)	TCP	21	任意	FTP サーバー (FTP 印刷の制御)
FTP データ (リモート)	TCP	任意	20	FTP クライアント (スキャンデータまたは受信ファクスの FTP 転送) ただし、制御できるのは 20 番のリモートポート番号を使用する FTP サーバーとのみ
FTP 制御 (リモート)	TCP	任意	21	FTP クライアント (スキャンデータや受信ファクスの FTP 転送の制御)
CIFS (ローカル)	TCP	445	任意	CIFS サーバー (ネットワークフォルダー共有)
CIFS (リモート)	TCP	任意	445	CIFS クライアント (スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送)
NetBIOS Name Service (ローカル)	UDP	137	任意	CIFS サーバー (ネットワークフォルダー共有)
NetBIOS Datagram Service (ローカル)	UDP	138	任意	
NetBIOS Session Service (ローカル)	TCP	139	任意	
NetBIOS Name Service (リモート)	UDP	任意	137	CIFS クライアント (スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送)
NetBIOS Datagram Service (リモート)	UDP	任意	138	
NetBIOS Session Service (リモート)	TCP	任意	139	
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP (S) サーバー (Web Config や WSD のデータ転送)
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP (S) クライアント (Epson Connect や Google クラウドプリントの通信、ファームウェアアップデートやルート証明書の更新)
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

## IPsec/IP フィルタリングの設定例

IPsec で保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーだけが使われます。

[基本ポリシー]：

- [IPsec/IP フィルタリング]：[有効]
- [通信処理]：[IPsec の使用]
- [認証方式]：[事前共有キー]
- [事前共有キー]：1～127 文字以内の任意文字

[個別ポリシー]：設定しない

#### 印刷データとプリンター設定を受け付ける

指定したサービスからの印刷データとプリンター設定の通信を受け付ける場合の例です。

[基本ポリシー]：

- [IPsec/IP フィルタリング]：[有効]
- [通信処理]：[通信を遮断]

[個別ポリシー]：

- [この個別ポリシーを有効にする]：チェックを入れる
- [通信処理]：[通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)]：印刷クライアントの IP アドレス
- [ポート指定方法]：[サービス名]
- [サービス名]：[ENPC]、[SNMP]、[HTTP (ローカル)]、[HTTPS (ローカル)]、[RAW (Port9100)] にチェックを入れる

#### 特定の IP アドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

[基本ポリシー]：

- [IPsec/IP フィルタリング]：[有効]
- [通信処理]：[通信を遮断]

[個別ポリシー]：

- [この個別ポリシーを有効にする]：チェックを入れる
- [通信処理]：[通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)]：管理者用クライアントの IP アドレス

#### 参考

ポリシーの設定に関わらず、プリンターの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

# SNMPv3 プロトコルを利用する

---

## SNMPv3 の概要

SNMP はネットワークに接続されたデバイスの情報を収集して監視や制御を行うためのプロトコルで、SNMPv3 は管理セキュリティ機能が強化されたバージョンです。

SNMPv3 を使うと、対応する機器管理ツールとの状態監視や設定変更の SNMP 通信（パケット）を認証・暗号化でき、盗聴やなりすまし、改ざんなどネットワーク上のリスクから SNMP 通信（パケット）を守ることができます。

---

## SNMPv3 を設定する

プリンターが SNMPv3 プロトコルに対応している場合、プリンターへのアクセスを監視・制御できます。

**1** Web Config で [利用サービス] - [プロトコル] を選択します。

**2** [SNMPv3 設定] の各項目を設定します。

**3** [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

**4** [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

### 関連情報

➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

➔ [「SNMPv3 の設定項目」 47 ページ](#)

## SNMPv3 の設定項目

The screenshot shows the 'SNMPv3' configuration page. On the left is a navigation menu with options like 'Information Confirmation', 'Network Settings', 'Network Security Settings', 'Utilization Services', 'Protocols', and 'Administrator Settings'. The main area is titled 'SNMPv3' and contains several sections:
 

- SNMPv1/v2cを有効にする**: A checked checkbox. Below it, 'アクセス権限' (Access Permission) is set to '読み書き可能' (Read/Write), 'コミュニティ名 (読み込み専用)' (Community Name (Read-Only)) is 'public', and 'コミュニティ名 (読み書き可能)' (Community Name (Read/Write)) is empty.
- SNMPv3設定**: A checked checkbox. Below it, 'ユーザー名' (Username) is 'admin'.
- 認証設定** (Authentication Settings): 'アルゴリズム' (Algorithm) is 'MD5'. There are input fields for 'パスワード' (Password) and 'パスワード確認入力' (Password Confirmation Input).
- 暗号化設定** (Encryption Settings): 'アルゴリズム' (Algorithm) is 'DES'. There are input fields for 'パスワード' (Password) and 'パスワード確認入力' (Password Confirmation Input).
- 'コンテキスト名' (Context Name) is 'EPSON'.

 A '次へ' (Next) button is located at the bottom of the configuration area.

アイテム	設定値と説明
SNMPv3 を有効にする	チェックを入れると SNMPv3 が有効になります。
ユーザー名	1 バイト文字を使って 1～32 文字以内で入力します。
認証設定	
アルゴリズム	認証用のアルゴリズムを選択します。
パスワード	ASCII (0x20-0x7E) で表せる 8～32 文字以内で入力します。
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定	
アルゴリズム	暗号化用のアルゴリズムを選択します。
パスワード	ASCII (0x20-0x7E) で表せる 8～32 文字以内で入力します。
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名	1 バイト文字を使って 1～32 文字以内で入力します。

### 関連情報

➔ [「SNMPv3 を設定する」 46 ページ](#)

---

# トラブルを解決する

---

## サーバーやネットワーク機器のログの確認

ネットワーク接続でトラブルが発生したときは、ネットワーク機器のログ情報を確認したり、コマンドを使ってステータスを確認したりすると原因を特定できることがあります。

## ネットワークステータスシートを印刷する

ネットワークステータスシートを印刷すると、プリンターのネットワーク情報や状態を確認できます。

- 1 印刷用紙をセットします。
- 2 ホーム画面で [メニュー] を選択します。  
項目を選択するには、▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを使ってフォーカスを移動し、[OK] ボタンを押してください。
- 3 [ネットワーク設定] - [ステータスシート印刷] を選択します。
- 4 [OK] ボタンを押します。
- 5 確認メッセージで [OK] ボタンを押します。

ホーム画面に戻ります。

## 設定の初期化

---

### プリンターでネットワーク設定を初期の状態に戻す

ネットワーク設定を購入時の設定に戻します。

- 1 ホーム画面で [メニュー] を選択します。  
項目を選択するには、▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを使ってフォーカスを移動し、[OK] ボタンを押してください。
- 2 [ネットワーク設定] - [初期設定に戻す] を選択します。

- 3 [OK] ボタンを押します。
- 4 確認メッセージで [OK] ボタンを押します。

ホーム画面に戻ります。

---

## EpsonNet Config でネットワーク設定を初期の状態に戻す

ネットワーク設定を購入時の設定に戻します。

- 1 EpsonNet Config を起動します。
- 2 購入時の設定に戻すプリンターを選択します。
- 3 製品名を右クリックし、[工場出荷時設定] - [ネットワーク I/F] を選択します。
- 4 確認画面で [OK] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックします。

## デバイスとコンピューターの疎通を確認する

---

### コンピューターとの疎通を Ping で確認する

Ping を使ってコンピューターとプリンターに通信ができているか確認します。以下の手順で接続を確認してください。

- 1 接続を確認したいプリンターの IP アドレスを確認します。  
プリンターの IP アドレスは、ネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認できます。
- 2 コンピューターのコマンドプロンプトを表示します。
- 3 「ping xxx.xxx.xxx.xxx」と入力して、Enter キーを押します。  
例：ping 192.0.2.111（チェックしたいプリンターの IP アドレスが 192.0.2.111 の場合）

## 4 通信状況を確認します。

プリンターとコンピューターが通信できていると以下のように表示されます。

```
C:\>ping XX.X.XXX.XXX
XX.X.XXX.XXX に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
XX.X.XXX.XXX からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
XX.X.XXX.XXX からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
XX.X.XXX.XXX からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
XX.X.XXX.XXX からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
XX.X.XXX.XXX の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
    最小 = 1ms、最大 = 1ms、平均 = 1ms
C:\>
```

プリンターとコンピューターが通信できていないと以下のように表示されます。

```
C:\>ping XX.X.XXX.XXX
XX.X.XXX.XXX に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
XX.X.XXX.XX からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XX.X.XXX.XX からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XX.X.XXX.XX からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XX.X.XXX.XX からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XX.X.XXX.XXX の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
C:\>_
```

# ソフトウェア使用時のトラブル

## Web Config にアクセスできない

プリンターに IP アドレスを設定していますか？

EpsonNet Config で IP アドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークス確認できます。

SSL/TLS の暗号強度に対応するメッセージ暗号化に、ウェブブラウザが対応していますか？

SSL/TLS の暗号強度に対応するメッセージ暗号化は以下の通りです。以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザで、Web Config を起動できます。ブラウザの暗号強度の対応ビットをご確認ください。

- 80 ビット：AES256/AES128/3DES
- 112 ビット：AES256/AES128/3DES
- 128 ビット：AES256/AES128
- 192 ビット：AES256
- 256 ビット：AES256

### Web Config に SSL 通信 (https) で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されましたか？

証明書の有効期限が切れていたら証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示される場合は、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

### Web Config に SSL 通信 (https) で接続したときに「セキュリティー証明書の名前が一致しません....」と表示されましたか？

自己署名証明書または CSR の作成時に [コモンネーム] で記述したアドレスとブラウザーに入力したアドレスが一致していません。証明書を取得し直すか、プリンター名を変更してください。

### プリンターをプロキシサーバー経由で使用していますか？

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザーのプロキシサーバーの設定が必要です。

[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の [プロキシサーバー] で、ローカルアドレスにプロキシサーバーを使わない設定にします。

設定例：

ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0 の場合：192.168.1.\*

ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0 の場合：192.168.\*.\*

### 関連情報

➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

➔ [「EpsonNet Config で IP アドレスを設定する」 16 ページ](#)

---

## EpsonNet Config で製品名や IP アドレスが表示されない

### Windows セキュリティーの重要な警告画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択しましたか？

[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Config または EpsonNet Setup で製品名が表示されません。通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティーソフトで EpsonNet Config を例外アプリケーションとして登録してください。それでも表示できないときは、市販のセキュリティーソフトを終了してから EpsonNet Config を再度起動してください。

### 通信エラーのタイムアウトが短い設定になっていませんか？

EpsonNet Config の [ツール] - [オプション] - [タイムアウト] で、[通信エラー] とする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、検索に時間がかかるため EpsonNet Config の動作は遅くなります。

### 関連情報

➔ [「EpsonNet Config の起動」 16 ページ](#)

---

## 高度なセキュリティーのトラブル解決

---

### セキュリティー設定の初期化

IPsec/IP フィルタリングを使用している場合、設定ミスや機器、サーバーのトラブルなどでデバイスと通信できなくなる可能性があります。この場合、セキュリティー機能を初期化してデバイスの設定をやり直したり、一時的に使用できるようにしたりします。

---

## プリンターからセキュリティー機能を無効にする

プリンターから IPsec/IP フィルタリングを無効に設定します。

- 1 [メニュー] - [ネットワーク設定] の順に選択します。
- 2 [ネットワーク詳細設定] を選択します。
- 3 [IPsec/IP フィルタリングの無効化] を選択します。
- 4 確認画面で [OK] ボタンを押します。
- 5 設定完了のメッセージが表示されたら [OK] ボタンを押します。

---

## Web Config からのセキュリティー機能の初期化

コンピューターからアクセスできれば無効に設定できます。

### IPsec/IP フィルタリングを無効化する

- 1 **Web Config** で [ネットワークのセキュリティー設定] - [IPsec/IP フィルタリング] - [基本] を選択します。
- 2 [基本ポリシー] の [IPsec/IP フィルタリング] の [無効] を選択します。
- 3 [次へ] をクリックして、全てのグループポリシーの [この個別ポリシーを有効にする] のチェックを外します。
- 4 [設定] をクリックします。

#### 関連情報

➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

## セキュア環境への接続時のトラブル

### 事前共有キーを忘れてしまった

Web Config でキーを設定し直してください。

Web Config の [ネットワークのセキュリティ設定] - [IPsec/IP フィルタリング] - [基本] - [基本ポリシー] または [個別ポリシー] の画面でキーを変更します。

#### 関連情報

➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

### IPsec 通信ができない

コンピューターの設定でサポートしていないアルゴリズムを指定していませんか？

プリンターがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。

セキュリティメソッド	アルゴリズム
暗号化アルゴリズム	AES-CBC 128、AES-CBC 192、AES-CBC 256、3DES-CBC、DES-CBC
ハッシュアルゴリズム	SHA-1、SHA2-256、SHA2-384、SHA2-512、MD5
キー交換アルゴリズム	Diffie-Hellman Group2、Diffie-Hellman Group1*、Diffie-Hellman Group14*、Elliptic Curve Diffie-Hellman P-256*、Elliptic Curve Diffie-Hellman P-384*

\*：対応していないプリンターがあります。

#### 関連情報

➔ [「IPsec/IP フィルタリングで暗号化通信する」 38 ページ](#)

### 突然通信ができなくなった

プリンターの IP アドレスが変更または使用不可になっていませんか？

プリンターの操作パネルで IPsec を無効にしてください。

Web Config の [ネットワークのセキュリティ設定] - [IPsec/IP フィルタリング] - [基本] - [個別ポリシー] - [ローカルアドレス (プリンター)] に設定した IP アドレスが、DHCP のリース切れや再起動、IPv6 アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IP アドレスは、固定の IP アドレスを使用してください。

コンピューターの IP アドレスが変更または使用不可になっていませんか？

プリンターの操作パネルで IPsec を無効にしてください。

Web Config の [ネットワークのセキュリティ設定] - [IPsec/IP フィルタリング] - [基本] - [個別ポリシー] - [リモートアドレス (ホスト)] に設定した IP アドレスが、DHCP のリース切れや再起動、IPv6 アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IP アドレスは、固定の IP アドレスを使用してください。

#### 関連情報

➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

➔ [「IPsec/IP フィルタリングで暗号化通信する」 38 ページ](#)

## セキュア IPP 印刷のポートが作成できない

正しい証明書を SSL/TLS のサーバー証明書に指定しましたか？

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗することがあります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターに CA 証明書がインポートされていますか？

コンピューターに CA 証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗することがあります。CA 証明書がインポートされているか確認してください。

### 関連情報

➔ [「Web Config の起動」 21 ページ](#)

## IPsec/IP フィルタリング設定したのにつながらない

設定が間違っている可能性があります。

プリンターの操作パネルから IPsec/IP フィルタリングを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IPsec/IP フィルタリングの設定をやり直してください。

### 関連情報

➔ [「IPsec/IP フィルタリングで暗号化通信する」 38 ページ](#)

---

## 電子証明書使用時のトラブル

### CA 署名証明書のインポートができない

入手した CA 署名証明書と作成した CSR の情報が一致していますか？

CA 署名証明書と CSR は、不一致の情報の場合インポートできません。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器で CSR を作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしていませんか？  
情報を確認して、一致する機器にインポートしてください。
- CA 局に CSR を送付した後、プリンターに保存されている CSR を再生成しましたか？  
再生成した CSR で CA 署名証明書を取得し直してください。

入手した CA 署名証明書のファイル容量が 5KB を超えていませんか？

5KB を超える CA 署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードは正しいですか？

パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。

### 関連情報

➔ [「CA 署名証明書をインポートする」 35 ページ](#)

### 自己署名証明書が更新できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

[コモンネーム] は必ず入力してください。

コモンネームに入力可能な文字以外（例：日本語）を入力していませんか？

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDN のいずれかの形式を ASCII (0x20-0x7E) で表せる 1~128 文字以内で指定します。

### コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

#### 関連情報

➔ [「自己署名証明書を更新する」 37 ページ](#)

## CSR が作成できない

### コモンネームが未入力ではありませんか？

[コモンネーム] は必ず入力してください。

### コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に入力可能な文字以外（例：日本語）を入力していませんか？

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDN のいずれかの形式を ASCII (0x20-0x7E) で表せる文字で指定します。

### コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

#### 関連情報

➔ [「CA 署名証明書を取得する」 33 ページ](#)

## 証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	<b>原因:</b> インポートするファイルが指定されていません。 <b>対処:</b> ファイルを選択してから [インポート] をクリックしてください。
CA 証明書 1 の参照先を入力してください。	<b>原因:</b> CA 証明書 1 が未入力、CA 証明書 2 が入力されています。 <b>対処:</b> 先に CA 証明書 1 をインポートしてください。
以下の入力値が正しくありません。	<b>原因:</b> ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 <b>対処:</b> 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	<b>原因:</b> プリンターに日付や時刻が設定されていません。 <b>対処:</b> Web Config や EpsonNet Config またはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。
パスワードが正しくありません。	<b>原因:</b> CA 証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 <b>対処:</b> 正しいパスワードを入力してください。

## トラブルを解決する

メッセージ	原因と対処
不正なファイルです。	<b>原因:</b> インポートしようとしたファイルが X509 形式の証明書ではありません。 <b>対処:</b> 信頼された CA 局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	<b>原因:</b> インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは 5KB です。 <b>対処:</b> ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	<b>原因:</b> 証明書に含まれるチェーンが不正です。 <b>対処:</b> 証明書の詳細は CA 局のウェブサイトをご覧ください。
3 つ以上の CA 証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	<b>原因:</b> PKCS#12 形式の証明書ファイルに 3 つ以上の CA 証明書が含まれています <b>対処:</b> PKCS#12 形式から複数の PEM 形式に変換して個別にインポートするか、2 つ以下の CA 証明書で PKCS#12 形式ファイルを再作成してインポートしてください。
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	<b>原因:</b> 証明書の有効期限が切れています。 <b>対処:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書を CA 局から取得してインポートしてください。</li> <li>証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。</li> </ul>
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	<b>原因:</b> 証明書と対になった秘密鍵がありません。 <b>対処:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターで生成した CSR で取得した PEM/DER 形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。</li> <li>コンピューターで生成した CSR で取得した PKCS#12 形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。</li> </ul>
	<b>原因:</b> Web Config で生成した CSR で取得した PEM/DER 形式の証明書を再度インポートしようとした。 <b>対処:</b> Web Config で生成した CSR で取得した PEM/DER 形式の証明書は、一度しかインポートできません。
設定に失敗しました。	<b>原因:</b> プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 <b>対処:</b> 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

### 関連情報

➔ [「使用できる電子証明書」 33 ページ](#)

## CA 署名証明書を誤って削除した

CA 署名証明書をバックアップ保存したファイルがありますか？

CA 署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。

## トラブルを解決する

Web Config で生成した CSR で取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSR を再生成して証明書を取得し直してください。

### 関連情報

- ➔ [「CA 署名証明書を削除する」 36 ページ](#)
- ➔ [「CA 署名証明書をインポートする」 35 ページ](#)

---

# 付録

---

## ネットワーク関連のソフトウェア

デバイスの設定、管理用のソフトウェアを紹介します。

---

### Epson Device Admin

Epson Device Admin は、デバイスのネットワークへの導入、設定、管理ができるアプリケーションソフトです。デバイスのステータスや消耗品情報などの詳細情報を把握し、アラートを通知したり、使用状況をレポートしたりできます。デバイスの詳細項目設定をテンプレートにして、デバイスに統一した設定値を適用できます。Epson Device Admin はエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細は Epson Device Admin のヘルプやマニュアルをご覧ください。

[www.epson.jp/](http://www.epson.jp/)

### Epson Device Admin の起動

[すべてのプログラム] - [EPSON] - [Epson Device Admin] から [Epson Device Admin] を選択します。



Windows ファイアウォールの警告画面が表示された場合は、Epson Device Admin を例外のプログラムに登録してください。

---

### EpsonNet Print

TCP/IP 上でネットワーク印刷するためのソフトウェアです。以下のような機能や制限があります。詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

- スプーラー画面にプリンターのステータスが表示できます。
- DHCP 機能によって変更された IP アドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所（別セグメント）のプリンターも使用できます。
- 印刷データの送信プロトコルが使い分けられます。
- IPv6 アドレスには対応していません。

EpsonNet Print はエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

以下のウェブサイトアクセスして、製品型番を入力して検索します。

[www.epson.jp/support/](http://www.epson.jp/support/)

---

### EpsonNet SetupManager

ネットワークプリンターのドライバーや EPSON ステータスマニタ 3 のインストールから印刷ポートの設定までを自動で実行するパッケージを作成するソフトウェアです。環境の異なるドライバーのパッケージを一括して作成できるため、ドライバーの配布やインストール、設定など管理者が行う環境構築作業を大幅に軽減できます。EpsonNet SetupManager はエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

[www.epson.jp/](http://www.epson.jp/)